

A P E Cビジネス界の代表、長期的成長を重視

A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C）は、経済、金融市場は改善しているが、A P E C及び世界経済は、この回復の萌芽を確固たるものにするため、過去の過ちを避けるべきである、との意見を表明した。

「今年は昨年と比べ好ましい経済環境とともに始まったが、重要な課題が残っている。私たちは政府と協力して、私たちの経済が成長路線を進み続け、道を踏み外すことのないよう期さねばならない。先般の危機は不十分な規制環境や不均衡な成長政策によって特徴付けられるが、私たちは危機をもたらした状況を再び作り出さないよう注意する必要がある。」とA B A C議長の相原元八郎氏は語った。

A B A Cはこれを念頭に置きつつ、地域経済統合、均衡のとれたあまねく広がる成長、および持続的な発展への強い決意に支持された長期的な成長の達成をめざし、2010年のA P E C首脳、政策立案者への提言作成作業に着手する。

メルボルンで開催された2010年第1回会合で、A B A C委員は金融危機が再発しないよう引き続き注視していく必要があることを再確認した。とりわけ保護主義の脅威が残存する中、開かれた市場を確保し、また域内のモノ、サービス、人の移動の円滑化の重要性を強調した。

A B A Cは思慮のある金融規制と慎重な監督の導入の重要性を強調した。この点に関し、A B A CはIMF専務理事宛に意見書を送付し、金融取引への国際課税提案はA P E Cの目指す取引コストの削減に逆効果をもたらすと述べた。また、市場を不安定化させずに財政刺激策の縮小を行うこと（いわゆる出口政策）が短期的には重要である、とも警告した。A B A Cは、金融市場の深化は成長のカギであり、国・地域間の格差を縮小し、経済統合を促進すると確信し、この目的の達成の障害となるものを、規制改革及びキャパシティー・ビルディング双方の見地から検討するようA P E Cに強く求める。

「長期的成長を実現するためには、貿易・投資の拡大に代替するものはない。アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向けた具体的な前進こそがこのための重要な取り組みである。規制改革、諸基準の標準化、投資フロー、サービス貿易、域内の労働力需給のマッチングなど、市場のアクセスを超えた市場統合の問題に対応した新たな世代の合意が必要である」と相原議長は述べた。

ABACはまた、APECの先進国・地域が2010年までに域内での自由で開かれた貿易・投資を達成するというボゴール目標で掲げたビジョンの実施状況の確認に着手した。ボゴール目標に向けた進捗状況の最終調査報告は、5月にチャイニーズ・タイペイで開催されるABACの次回会合で発表される。他に今年ABACが重点的に取り組むテーマには、域内の食料安全保障、環境物品・サービスの貿易促進、エネルギーの効率的利用、中小企業の発展などがある。

「ABACは気候変動問題への対処に向けての継続的努力を支持する。しかしながら我々は、WTOドーハ・ラウンドにおいて、環境物品・サービスに関わる措置について行動が起こせずにいるために、本来可能であるはずのエネルギー効率の改善が棚上げになっているのではないかと懸念している。食料安全保障はABACにとって優先順位の高い課題であり、APEC地域における食料に関わる重要案件の解決に向けての手続きを提案していく」と、オーストラリアABAC委員であり、ABAC・持続可能な発展作業部会の部会長であるJohn Denton氏は述べた。

「中小企業の発展は引き続きABACにとっての優先課題である。今年の活動では、中小企業救済政策や、知識集約型成長および情報通信技術の利用という2つの重要な領域において、ベスト・プラクティスを見出すことに焦点を当てていく。本年は、中国、ペルー、日本などで計4回の中小企業サミットが開かれるが、零細企業のためのファイナンシャル・インクルージョンが、取り組むべき重要課題の一つである」と、ブルネイABAC委員であり、能力構築・行動計画作業部会の部会長であるFauziah Talib氏は語った。